

身近なアレもコレも



エスディー・ジーズ
SDGsは、日々の生活にとっても身近なもの。学生が実践している取り組みを紹介します。
岡政策企画課(☎504-2014、☎504-2029)

につながっている!

12 つくる責任 つかう責任
外出するときはマイバックとマイボトルを持参

4年生 米田さん

3 すべての人に健康と福祉を
健康管理を兼ねて定期的に献血

1年生 村上さん

16 平和と公正をすべての人に
政治に関心を持ち、選挙に行って投票します

1年生 梅田さん

広島工業大学の学生団体「HIT SDGs Action Members」の皆さん

12 つくる責任 つかう責任
食べられる範囲で賞味期限の早いものを選んで購入

4年生 中本さん

13 気候変動に具体的な対策を
移動は基本、自転車で

1年生 あげむら 楊村さん

11 住み続けられるまちづくりを
大学周辺のごみ拾いを実践

1年生 えびす 胡さん

誰一人取り残さない世界



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年に国連で採択された世界共通の目標です。将来の世代が安心して暮らすことのできる「誰一人取り残さない」世界を目指して、17のゴール(目標)が定められています。

学生生活をSDGsとともに

「HIT SDGs Action Members」は、広島工業大学の「SDGs推進センター」の教職員と一緒にSDGs活動を盛り上げるために発足した学生団体。ペットボトルふた回収のための箱(右写真)を制作したり、フリーマーケットを行ったりしています。回収したふたは、NPOに寄付し、発展途上国へのワクチン提供支援につなげています。同団体の中本穂願さんは「ふたを入れる

と自動で数をカウントできるのが一番のポイント。さらに、学生がふたを入れることが楽しくなるよう、投入時に『あなたは犬派? 猫派?』などの投票機能を付けました。より多くの人に分別や支援の意識をもってもらえるよう改良を重ねたい」と意気込みます。



普段の生活に取り入れる

「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」など、SDGsのゴールにはなかなか身近に感じるできないものもあるかもしれません。しかし、特別な行動を起こさなくても、普段の生活の中にもSDGsにつながるたくさんあります。同団体のメンバーも日常生活の中でSDGsにつながる行動を考え、実践しています(上写真)。皆さんも、まずは意識して行動することから始めてみませんか。